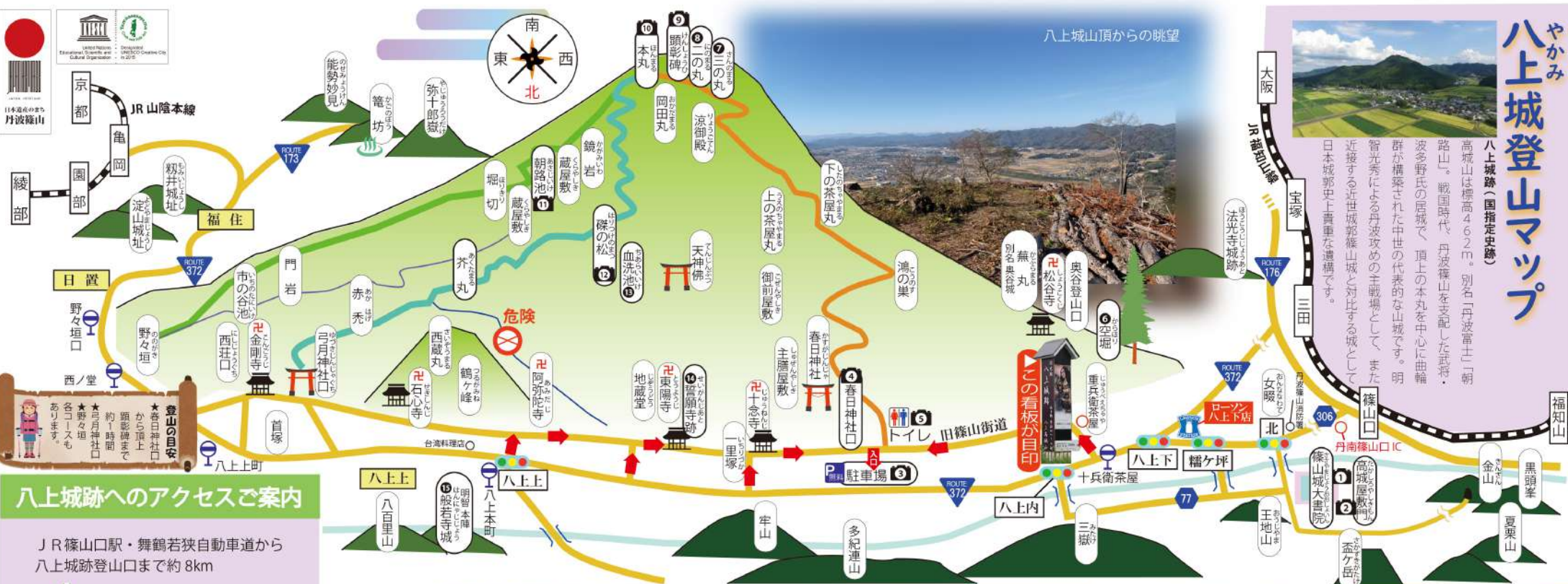


# やかみ 八上城登山マップ



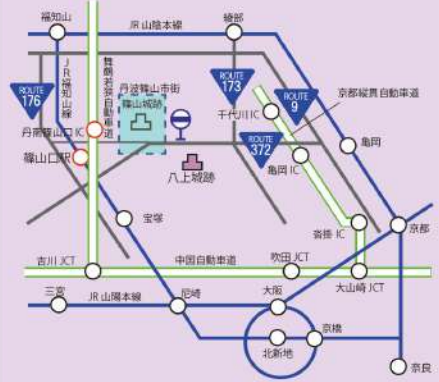
**八上城跡(国指定史跡)**  
 高城山は標高462m。別名「丹波富士」。朝露山。戦国時代、丹波篠山を支配した武将・波多野氏の居城で、頂上の本丸を中心に曲輪群が構築された中世の代表的な山城です。明智光秀による丹波攻めの主戦場として、また近接する近世城郭篠山城と対比する城として日本城郭史上貴重な遺構です。

八上城山頂からの眺望



## 八上城跡へのアクセスご案内

JR篠山駅・舞鶴若狹自動車道から八上城跡登山口まで約8km



**電車・バスをご利用の場合**  
 JR福知山線(宝塚線)「篠山駅」下車、神姫グリーンバス福住行「十兵衛茶屋」下車 ※バス時刻は神姫グリーンバス篠山営業所(電話 079-552-1157)まで

**自動車でお越しの場合**  
 舞鶴若狹自動車道「丹南篠山IC」から東へ約20分 または京東縦貫自動車道「千代川IC」から約1時間 ※駐車場は春日神社の登り口にご覧いただけます。

**ボランティアガイド・レンタサイクルのご案内は、篠山観光協会(電話 079-552-3380)までお問い合わせください。**



**1 篠山城大書院**  
八上城が落城した30年後、慶長14年(1609年)徳川家康の命で築城された。敵軍の動きを妨げるための枳形虎口、滋賀近江の穴太衆の手による石垣、馬出などは一見の価値あり。



**2 高城屋敷門**  
元は八上城内の屋敷門であったと伝わる。八上城が廃された後、篠山城内の武家屋敷門として転用された。一間一戸の薬匠門であり現在は瓦葺きであるが創建当時は茅葺であったとされる。



**3 高城山登山 無料駐車場**  
県道77号線、八上下交差点から東に100m。右手にある重兵衛茶屋が目印。重兵衛茶屋から東に100m walked。左側旧篠山街道沿いにある駐車場。約20台が駐車可能。



**4 春日神社**  
大手門口とも呼ばれる。登山道はほとんど整備された階段で片道およそ1時間。付近にはたかさんの支城が築かれ、波多野家がいていたのがよく分かる。



**5 トイレ**  
春日神社コースの春日神社の参道を進んで右側すべ。八上城登山の唯一のトイレ。



**6 空堀(からほり)跡**  
古書に「横五間、長六十間」とあるが、今は小さくなり重兵衛茶屋の南100m程の山麓に残っている。昔は、この付近に枳形(ますがた)などの空堀が縦横にあったと思われる。



**7 春日神社**  
春日神社の参道を進んで右側すべ。八上城登山の唯一のトイレ。



**8 空堀(からほり)跡**  
古書に「横五間、長六十間」とあるが、今は小さくなり重兵衛茶屋の南100m程の山麓に残っている。昔は、この付近に枳形(ますがた)などの空堀が縦横にあったと思われる。



**9 朝露池**  
本丸の東南下の谷間にあり、籠城の際の生命を落した肝水池。落城の時、朝露姫がこの池に身を投げたと言われ、この池に「二人行き水鏡に自分の姿を映し、それが美女に見える人はその人年内に死す」との伝説がある。落城の時、金銀財宝を隠し捨てた場所とも言われている。



**10 朝露池**  
本丸の東南下の谷間にあり、籠城の際の生命を落した肝水池。落城の時、朝露姫がこの池に身を投げたと言われ、この池に「二人行き水鏡に自分の姿を映し、それが美女に見える人はその人年内に死す」との伝説がある。落城の時、金銀財宝を隠し捨てた場所とも言われている。



**11 朝露池**  
本丸の東南下の谷間にあり、籠城の際の生命を落した肝水池。落城の時、朝露姫がこの池に身を投げたと言われ、この池に「二人行き水鏡に自分の姿を映し、それが美女に見える人はその人年内に死す」との伝説がある。落城の時、金銀財宝を隠し捨てた場所とも言われている。



**12 朝露池**  
本丸の東南下の谷間にあり、籠城の際の生命を落した肝水池。落城の時、朝露姫がこの池に身を投げたと言われ、この池に「二人行き水鏡に自分の姿を映し、それが美女に見える人はその人年内に死す」との伝説がある。落城の時、金銀財宝を隠し捨てた場所とも言われている。



**13 朝露池**  
本丸の東南下の谷間にあり、籠城の際の生命を落した肝水池。落城の時、朝露姫がこの池に身を投げたと言われ、この池に「二人行き水鏡に自分の姿を映し、それが美女に見える人はその人年内に死す」との伝説がある。落城の時、金銀財宝を隠し捨てた場所とも言われている。



**14 朝露池**  
本丸の東南下の谷間にあり、籠城の際の生命を落した肝水池。落城の時、朝露姫がこの池に身を投げたと言われ、この池に「二人行き水鏡に自分の姿を映し、それが美女に見える人はその人年内に死す」との伝説がある。落城の時、金銀財宝を隠し捨てた場所とも言われている。